

(様式9号)

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	乙 第 1063 号	氏 名	岡 弘 俊 枝
論文審査担当者	主査教授	矢野 雅文	
	副査教授	濱野 公一	
	副査教授	松永 尚文	
学位論文題目名 (題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。)			
病変のない肺区域におけるデュアルソース CT を用いたデュアルエネルギー肺灌流 CT : 肺血流 SPECT との相関 (Dual energy perfusion CT of non-diseased lung segments using dual-source CT: correlation with perfusion SPECT)			
学位論文の関連論文題目名 (題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。)			
Dual-energy perfusion CT of non-diseased lung segments using dual-source CT: correlation with perfusion SPECT (病変のない肺区域におけるデュアルソース CT を用いたデュアルエネルギー肺灌流 CT : 肺血流 SPECT との相関)			
掲載雑誌名 Japanese Journal of Radiology 第 31 巻 第 2 号 P. 99 ~ 104 (2013 年 2 月 掲載・掲載予定)			
(論文審査の要旨)			
<p>病変がみられない肺区域において、デュアルソース CT (dual-source CT、以下 DSCT) を用いたデュアルエネルギー肺灌流 CT (dual energy perfusion CT : 以下 DEpCT) を肺血流 SPECT (perfusion single-photon emission computed tomography : 以下 SPECT) と比較検討する。</p> <p>肺血流の評価目的に DEpCT と SPECT を 3 日以内に施行された 28 例の症例 (男性 18 例と女性 10 例、平均 63 歳、18~86 歳) について、CT 肺野条件にて明らかな異常所見のない肺区域を抽出し、2 名の放射線科医がそれらの肺区域の血流欠損の有無と欠損域の存在部位を評価した。</p> <p>DEpCT では 361 区域中、7 区域で血流欠損域が認められた。perfusion SPECT では 361 区域中、19 区域で血流欠損域が認められた。DEpCT は perfusion SPECT と良好な一致率を呈しており (361 区域中、338 区域で一致 : 93.6%)、読者間についても良好な一致率が認められた (93.4% to 93.6% ($\kappa = 0.64-0.75$, $p < 0.01$))。</p> <p>病変がみられない肺区域において、DEpCT は SPECT と良好な相関が認められた。</p>			
<p>本論文は病変のない肺区域における DEpCT と肺血流 SPECT とを比較検討し、良好な相関を明らかにしたものであり、学位論文として価値あるものと認めた。</p>			

備考 審査の要旨は 800 字以内とすること。

(様式3号)

学 位 論 文 の 要 旨

氏名 国弘 佳枝

〔題名〕 病変のない肺区域におけるデュアルソースCTを用いたデュアルエネルギー肺灌流CT：肺血流SPECTとの相関

(Dual-energy perfusion CT of non-diseased lung segments using dual-source CT: correlation with perfusion SPECT)

〔要旨〕

病変がみられない肺区域において、デュアルソースCT (dual-source CT) を用いたデュアルエネルギー肺灌流CT (dual-energy perfusion CT: 以下DEpCT) を肺血流SPECT (perfusion single-photon emission computed tomography: 以下SPECT) と比較検討する。

肺血流の評価目的にDEpCTとSPECTを3日以内に施行された28人の症例 (男性18人と女性10人、平均63歳、18~86歳) について、CT肺野条件にて明らかな異常所見のない肺区域を抽出し、2名の放射線科医がそれらの肺区域の血流欠損の有無と欠損域の存在部位を評価した。

DEpCTでは361区域中、7区域で血流欠損域が認められた。perfusion SPECTでは361区域中、19区域で血流欠損域が認められた。DEpCTはperfusion SPECTと良好な一致率を呈しており (361区域中、338区域で一致: 93.6%)、読者間についても良好な一致率が認められた (93.4% to 93.6% ($\kappa = 0.64-0.75$, $p < 0.01$))。

病変がみられない肺区域において、DEpCTはSPECTと良好な相関が認められた。